

施策評価シート（対象：R2年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 市民活力推進部		
	節	1	市民との協働によるまちづくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	市民と行政がともに力を合わせ、役割分担を行い、課題解決に向け、自らが取り組んでいます。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 審議会等の委員に対する公募の割合	15.90%	—	—	—	—	20%	—	—	—	—	25%
	—	18%	19.8%	18.8%	20.9%	20.9%					
② まちづくり出前講座の利用者数	13,499人	—	—	—	—	16,000人	—	—	—	—	20,000人
	—	17,947人	16,924人	15,018人	13,854人	2,191人					
③ ボランティア・市民活動団体登録数	201団体	—	—	—	—	260団体	—	—	—	—	310団体
	—	222団体	235団体	229団体	225団体	268団体					
④ NPO法人登録数	16団体	—	—	—	—	20団体	—	—	—	—	25団体
	—	22団体	22団体	22団体	21団体	21団体					
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	R2年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 協働によるまちづくりの推進	516	1	0	1	0	市民協働推進課
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	516	1	0	1	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	1	市民との協働によるまちづくり	評価者名	鈴木 圭介
評価主体が推進する施策の概要	協働によるまちづくりの推進 ・各種審議会や委員会等、市民が主体的に参画できる機会や場を拡充するとともに、まちづくり出前講座を活用し、市民との協働によるまちづくりを推進する。				

### 3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>・出前講座は、50件の申込と2,191人の利用があった。</p> <p>・市民まつりは、新型コロナウイルス感染症の影響により開催することができなかった。</p> <p>・協働のまちづくり推進事業助成金は、助成額等を見直し実施団体を募ったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により事業実施の見通しが立たず交付団体は無かった。</p> <p>・市民活動推進委員会では、「協働を推進・支援する組織・拠点の整備」について協議が行われた。また、協議内容が「報告書」としてまとめられ市に提出された。</p>		
課題	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>「協働」は、本市のまちづくりの基本理念にも位置付けられていることから、全職員が協働についての共通認識を持つ必要がある。また、市民団体等の活動の広がりを協働につなげていく仕組みづくりが必要となっている。</p> <p>出前講座については、同一利用者からの申請が多いことや利用回数が少ないメニューがあることなどの課題があることから、多くの市民にメニューが広く活用されるようなPRが必要である。</p>		

### 4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	審議会委員に対する公募委員の割合やボランティア・市民活動団体登録数等は概ね目標値を達成している。 また、協働のまちづくり推進事業助成金については、市民活動推進委員会での議論を踏まえ助成額等が見直されたことで、より利用しやすい制度となっている。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

### 5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進 <input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他																																
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <p>市民や市職員が共通認識を持って協働のまちづくりに取り組めるよう、協働に対する考え方を引き続き周知していく。市民活動推進委員会等と連携して、引き続き市民活動の支援方策等について調査研究を行う。</p> <p>出前講座メニューの周知に力を入れるとともに、新たなメニューの募集や提供方法など調査研究を行う。</p>																																
■重点事業（部で5事業まで）																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">章</th> <th colspan="2">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>06</td> <td>01 01</td> <td>協働によるまちづくりの推進</td> <td>協働のまちづくり推進事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	章	施策コード		施策の内容	事務事業	節	施策	1	06	01 01	協働によるまちづくりの推進	協働のまちづくり推進事業	2					3					4					5				
章	施策コード		施策の内容	事務事業																													
	節	施策																															
1	06	01 01	協働によるまちづくりの推進	協働のまちづくり推進事業																													
2																																	
3																																	
4																																	
5																																	

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出



施策評価シート（対象：R2年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 企画財政部	総務部
	節	2	市民に開かれたまちづくり		生活安全部	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	行政が持つ情報が適切に分かりやすく市民に提供され、市民の声が行政運営に反映される仕組みが整っています。また、行政が持つ情報が適切に管理・運用され、市民との信頼関係が築かれています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	実績	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
① 広報紙から必要な生活情報を得た人の割合	64.90%	—	—	—	—	70%	—	—	—	—	—	70%
	—	48.7%	—	—	—	38.5%	—	—	—	—	—	—
② やしお840メール配信サービスの登録件数	1,227件	—	—	—	—	2,000件	—	—	—	—	—	3,000件
	—	2,179件	2,400件	2,704件	3,315件	3,971件	—	—	—	—	—	—
③ 地域情報サービス数	—	—	—	—	—	1件	—	—	—	—	—	2件
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R2年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 情報公開の充実・個人情報の保護	175	1	1	0	0	総務人事課
2 広聴・広報の充実	23,012	2	0	2	0	秘書広報課
3 情報交流の支援	17,792	2	0	1	1	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当、市民課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	40,979	5	1	3	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	企画財政部
	節	2	市民に開かれたまちづくり	評価者名	前田 秀明
評価主体が推進する施策の概要	広聴・広報の充実 ・市民の意見及び要望等を市政に活かすため、市民意識調査や市民の声ボックス等の広聴活動を充実する。また、市政の情報を広報紙、ホームページ、やしお840メール配信サービス等の様々な媒体を通して広く市民等に提供するなど、広報活動を充実する。 情報交流の支援 ・市民同士、また市民と行政が情報交流を行い、コミュニケーションを図れるよう、セキュリティを確保したネットワークを活用し、地域情報サービスを提供する。				

### 3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	広聴事業では、市民の声ボックス等により市民要望を把握するとともに、各種相談事業を行った。 広報事業では、広報紙の編集・発行、市ホームページの更新・維持管理、やしお840メール配信サービス、パブリシティを行った。また、ホームページのシティセールス専用サイトやSNSを活用し、効果的な情報発信に努めた。さらに、ハッピーこまちゃんからのメッセージ動画の公開やAIチャットボットの導入に向けた検討を行った。 地域情報化推進事業では、SNSを活用した地域情報のコミュニケーションシステムの調査・研究を行った。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	市民への広報紙の配布は新聞折込が主な方法であるが、新聞を購読していない世帯が増加傾向にある。このため、新聞を購読していない世帯の方にも広報紙の情報を提供するため、公共施設や民間施設への広報紙の設置や、ホームページへの掲載、やしお840メール配信等により対応している。今後も、市民が適切に市政情報を取得できるよう、様々な手法を検討することが必要である。 また、地域情報化についての計画を策定してから年数が経過しており、コミュニケーションシステムの環境も大きく変化しているため、現状に合わせたニーズの把握、システム導入の研究等が必要となる。		

### 4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	地域情報化推進事業については、情報化基本計画の見直しなどの課題に対し遅れが見られるものの、広聴・広報事業については、おおむね順調に事業が実施されており、全体としては概ね順調と評価した。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

### 5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																							
施策の展開方針	(説明)  広聴事業については、市民の声ボックスやまちづくりを語るつどい、市民意識調査により、市民要望の把握に努める。 広報事業については、広報紙、ホームページ、やしお840メール配信サービス等の様々な媒体により広く市民に情報提供を行って広報活動の充実を図るとともに、市の様々な魅力を市内外に効果的に発信していく。 地域情報化推進事業については、国等の施策と連携し、市民が求めるサービスに対応した地域情報化の実現を目指す。																																							
	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他																																							
<input checked="" type="checkbox"/> 重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>06</td> <td>02</td> <td>02</td> <td>広聴・広報の充実</td> <td>広報事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>06</td> <td>02</td> <td>02</td> <td>広聴・広報の充実</td> <td>広聴事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	06	02	02	広聴・広報の充実	広報事業	2	06	02	02	広聴・広報の充実	広聴事業	3						4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	06	02	02	広聴・広報の充実	広報事業																																			
2	06	02	02	広聴・広報の充実	広聴事業																																			
3																																								
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出



施策評価シート（対象：R2年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 総務部	企画財政部
	節	2	市民に開かれたまちづくり		生活安全部	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	行政が持つ情報が適切に分かりやすく市民に提供され、市民の声が行政運営に反映される仕組みが整っています。また、行政が持つ情報が適切に管理・運用され、市民との信頼関係が築かれています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 広報紙から必要な生活情報を得た人の割合	64.90%	—	—	—	—	70%	—	—	—	—	70%
	—	48.7%	—	—	0.385	—	—	—	—	—	—
② やしお840メール配信サービスの登録件数	1,227件	—	—	—	—	2,000件	—	—	—	—	3,000件
	—	2,179件	2,400件	2,704件	3,315件	3,971件	—	—	—	—	—
③ 地域情報サービス数	—	—	—	—	—	1件	—	—	—	—	2件
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R2年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 情報公開の充実・個人情報の保護	175	1	1	0	0	総務人事課
2 広聴・広報の充実	23,012	2	0	2	0	秘書広報課
3 情報交流の支援	17,792	2	0	1	1	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当、市民課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	40,979	5	1	3	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	総務部
	節	2	市民に開かれたまちづくり	評価者名	會田 喜一郎
評価主体が推進する施策の概要	情報公開の充実 ・市民の知る権利の保障及び行政機関の説明責任を果たすとともに、個人情報の適正な取扱いに努める。				

### 3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	情報公開・個人情報保護事務は、条例に基づき適正な運用を行っている。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input type="checkbox"/> 大きな課題がある
	市外法人等からの公開申出に係る大量請求、頻回請求等への対応、個人情報の開示に係る任意代理、郵送請求等への対応、特定個人情報の取扱いが課題である。 また、非識別加工情報について、国や他の自治体の動向に注視しつつ継続して調査研究をする必要がある。		

### 5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進
施策の展開方針	(説明)  今後も条例に基づき、情報公開・個人情報保護事務を適正に運用していく。 また、課題の改善に向けた検討を進めるとともに、運用上の細部の見直しを図っていく。

#### 重点事業（部で5事業まで）

	施策コード			施策の内容	事務事業
	章	節	施策		
1	06	02	01	情報公開の充実・個人情報の保護	情報公開・個人情報保護事務
2					
3					
4					
5					

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

### 4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	情報公開制度により市民の知る権利を保障し、個人情報保護制度により個人情報の適正な取扱いを確保している。両制度を適切に運用することで、公正で市民に開かれた行政の推進に資するとともに、個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益の保護に資することに努めている。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）



施策評価シート（対象：R2年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	●	生活安全部	企画財政部
	節	2	市民に開かれたまちづくり			総務部	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	行政が持つ情報が適切に分かりやすく市民に提供され、市民の声が行政運営に反映される仕組みが整っています。また、行政が持つ情報が適切に管理・運用され、市民との信頼関係が築かれています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	実績	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
① 広報紙から必要な生活情報を得た人の割合	64.90%	—	—	—	—	70%	—	—	—	—	—	70%
	—	48.7%	—	—	—	0.385	—	—	—	—	—	—
② やしお840メール配信サービスの登録件数	1,227件	—	—	—	—	2,000件	—	—	—	—	—	3,000件
	—	2,179件	2,400件	2,704件	3,315件	3,971件	—	—	—	—	—	—
③ 地域情報サービス数	—	—	—	—	—	1件	—	—	—	—	—	2件
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R2年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 情報公開の充実・個人情報の保護	175	1	1	0	0	総務人事課
2 広聴・広報の充実	23,012	2	0	2	0	秘書広報課
3 情報交流の支援	17,792	2	0	1	1	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当、市民課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	40,979	5	1	3	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	0
	節	2	市民に開かれたまちづくり	評価者名	
評価主体が推進する施策の概要	1. 情報交流の支援 駅前出張所管理・サービス事業については、住民異動届の受付、印鑑登録及び戸籍の届出受付、住民票・印鑑証明・戸籍・各種税証明の交付、市税及び税外諸収入の収納、児童手当及び子ども医療等の届出、一般旅券の申請受理及び交付、県証紙及び印紙の売り捌き等の多くの業務を取り扱うことにより市民サービスの向上を図ります。				

### 3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口において12課21事業114業務を取り扱いました。</li> <li>・各種証明書の交付件数は、住民票等16,688件、印鑑証明8,066件、戸籍・除籍謄抄本等2,271件、税証明等4,254件、その他の証明182件でした。</li> <li>・市税及び税外諸収入の収納件数は、市税5,072件、税外諸収入3,223件でした。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で一般旅券の申請件数は大幅に減少し344件でした。</li> </ul>		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取扱業務が市民生活に密接していて複雑多岐にわたることから、職員の経験値による差が生じやすい状況である。</li> <li>・変則的な勤務体制の中、限られた人員で対応しなければならぬため職員のローテーションが課題である。</li> </ul>		

### 4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施しながら、変則的な勤務体制の中限られた人員で複雑多岐にわたる業務を工夫しながら遂行していたことから、概ね順調に成果があがっていると評価する。

### 5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進			
施策の展開方針	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他			
	(説明) <ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた人員で複雑多岐にわたる業務を取り扱う必要があるため、マニュアルの作成や事務の引継を徹底するとともに、あわせて事務の効率化を図る。</li> <li>・市民サービスを更に向上させるため、職員向け研修等を充実させ個々のスキルアップを図る。</li> <li>・本庁市民課と常に情報共有を図り連携強化に努める。</li> </ul>			
■重点事業（部で5事業まで）				
	施策コード	施策の内容		事務事業
1	06 02 03			駅前出張所管理・サービス事業
2				
3				
4				
5				

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）  
 ☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）



施策評価シート（対象：R2年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 企画財政部	総務部
	節	3	健全で計画的・効率的な行政の体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	民間企業等のもつ経営手法を取り入れ、複雑化・多様化する市民ニーズに対し迅速かつ的確に対応することができる体制が構築されています。また、長期的な展望に基づき、健全で計画的・効率的な行財政運営を目指して取り組んでいます。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	実績	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
① 行政評価において目標達成した事業の割合	87.10%	—	—	—	—	95%	—	—	—	—	—	100%
	—	91.8%	93.1%	93.0%	93.0%	93.2%	—	—	—	—	—	—
② 職員研修のコース数及び受講者数	53コース 809人	—	—	—	—	54コース 820人	—	—	—	—	—	55コース 837人
	—	56コース 725人	57コース 850人	53コース 892人	58コース 941人	34コース 455人	—	—	—	—	—	—
③ 女性職員向け研修のコース数及び受講者数	4コース 27人	—	—	—	—	4コース 40人	—	—	—	—	—	5コース 60人
	—	5コース 25人	4コース 29人	3コース 22人	2コース 22人	※新型コロナウイルス の中止	—	—	—	—	—	—
④ 標準財政規模に対する財政調整基金及び減債基金残高の割合	4.20%	—	—	—	—	10%	—	—	—	—	—	10%
	—	5.7%	7.5%	11.6%	14.4%	15.8%	—	—	—	—	—	—
⑤ 実質公債費比率	10.60%	—	—	—	—	9%	—	—	—	—	—	7%
	—	8.3%	7.5%	6.1%	5.4%	5.0%	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R2年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 計画的・効率的な行政の推進	23,717	5	1	3	1	企画経営課、財政課
2 行政組織の効率化と人材育成	23,566	4	2	2	0	企画経営課、総務人事課
3 行政事務の電子化	282,099	4	0	4	0	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当
4 健全で柔軟な財政運営	176,387	7	7	0	0	財政課、市民税課、資産税課、納税課
5						
6						
7						
8						
9						
計	505,769	20	10	9	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	企画財政部
	節	3	健全で計画的・効率的な行政の体制づくり	評価者名	前田 秀明
評価主体が推進する施策の概要	<p>・総合計画・基本計画に基づき、実施計画の策定及び行政評価を実施する。また、行政改革、事務事業の見直し及び行政組織・職員定数の見直しを行いながら、効率的、効果的な行政運営を行う。</p> <p>・長期的視点に立ち、公営企業等を含めた経営の健全化を図るとともに、健全で柔軟な財政運営を推進する。また、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく財政指標の改善や適正化を推進する。</p>				

### 3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)		
	<p>・第5次八潮市総合計画・基本計画を管理するため、行政マネジメントシステムを有効に活用した。総合計画を円滑に進行するため、実施計画の策定及び行政評価を実施し、その結果を公表するとともに、事務量に応じた職員定数の決定を行った。</p> <p>・基幹系情報処理業務システムについては、国が策定する標準仕様に準拠するシステムへの移行が必要となることから、国等の動向に注視しながら近隣市等における対応状況等の情報収集を行った。</p> <p>・財政健全化法に基づく令和2年度決算の健全化判断比率は、実質公債費比率5.0%（R1:5.4%）で0.4ポイント改善し、将来負担比率は26.8%（R1:30.6%）で3.8ポイント改善した。</p>		
課題	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>・総合計画を進行管理していくうえで、コスト意識や情報分析能力等が必要であるため、さらなる職員の意識改革をする必要がある。また、人口の増加や市民ニーズの多様化・複雑化に伴う事務量の増加に対応できる組織の検討が必要である。</p> <p>・基幹系情報処理業務システムの標準化に向けては、対象となる17業務システムの標準化のみならず、データ連携を行っている他システムにも影響が生じるため、広範囲にわたっての調査・分析等が必要である。また、令和7年度までが移行目標とされているため、短期間での確な対応を図らなければならない。</p> <p>・実質公債費比率及び将来負担比率が前年度と比較して改善されたものの、依然として高い数値であり、引き続き一般会計の歳入・歳出の両面にわたる財政健全化に向けた取組みを進めるとともに、特別会計においても財政健全化に努め、一般会計からの繰出金の抑制に努める必要がある。</p>		

### 4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	いずれの業務も課題はあるものの、それぞれの業務について適切な管理を行い、順調に業務が行われている。また、実質公債費比率、将来負担比率とも前年度より改善されている。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

### 5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																								
施策の 展開方針	<p>(説明)</p> <p>・第5次八潮市総合計画の推進にあたり、行政マネジメントシステムを活用し、効率的・効果的な事業の実施を図るとともに、行政評価を実施し、事業の改善、市民満足度の向上に努め、基本計画に掲げた施策の内容の計画的な実施に努める。行政改革については、「第6次八潮市行政改革大綱・実施計画」の取組状況の進行管理を行い、引き続き、事務事業の見直しや業務改善を図る。また、行政組織・職員定数については、組織全体の事務量を把握した上で、毎年度組織・定数の決定を行う。</p> <p>・地方公共団体情報システムの標準化に関する法律（令和3年9月1日施行）の趣旨を踏まえ、対象17業務システムの標準化に向け、関係課と連携等を図りながら、国が目標としている令和7年度までの標準化システムへの移行に取り組んでいく。</p> <p>・財政健全化法の趣旨を踏まえ、公債費の適正化を図るため、新たな地方債の発行については、その年度の元金償還額を超えないよう抑制に努めるとともに、実質公債費比率だけでなく、経常収支比率や将来負担比率等の財政指標の動向に留意し、一般会計、特別会計ともに健全な財政運営に努めていく。</p>																																								
	<p>■重点事業（部で5事業まで）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>06</td> <td>03</td> <td>01</td> <td>計画的・効率的な行政の推進</td> <td>計画行政推進事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>06</td> <td>03</td> <td>03</td> <td>行政事務の電子化</td> <td>基幹系情報処理業務管理事務</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>06</td> <td>03</td> <td>04</td> <td>健全で柔軟な財政運営</td> <td>財政健全化事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	06	03	01	計画的・効率的な行政の推進	計画行政推進事業	2	06	03	03	行政事務の電子化	基幹系情報処理業務管理事務	3	06	03	04	健全で柔軟な財政運営	財政健全化事業	4						5				
	施策コード				施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																						
1	06	03	01	計画的・効率的な行政の推進	計画行政推進事業																																				
2	06	03	03	行政事務の電子化	基幹系情報処理業務管理事務																																				
3	06	03	04	健全で柔軟な財政運営	財政健全化事業																																				
4																																									
5																																									

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出



施策評価シート（対象：R2年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 総務部	企画財政部
	節	3	健全で計画的・効率的な行政の体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	民間企業等のもつ経営手法を取り入れ、複雑化・多様化する市民ニーズに対し迅速かつ的確に対応することができる体制が構築されています。また、長期的な展望に基づき、健全で計画的・効率的な行財政運営を目指して取り組んでいます。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	実績	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
① 行政評価において目標達成した事業の割合	87.10%	—	—	—	—	95%	—	—	—	—	—	100%
	—	86.9%	87.1%	85.5%	85.5%							
② 職員研修のコース数及び受講者数	53コース 809人	—	—	—	—	54コース 820人	—	—	—	—	—	55コース 837人
	—	56コース 725人	57コース 850人	53コース 892人	58コース 941人	34コース 455人						
③ 女性職員向け研修のコース数及び受講者数	4コース 27人	—	—	—	—	4コース 40人	—	—	—	—	—	5コース 60人
	—	5コース 25人	4コース 29人	3コース 22人	2コース 22人	※新型コロナウイルスのため 中止						
④ 標準財政規模に対する財政調整基金及び減債基金残高の割合	4.20%	—	—	—	—	10%	—	—	—	—	—	10%
	—	5.7%	7.5%	11.6%	14.4%	15.8%						
⑤ 実質公債費比率	10.60%	—	—	—	—	9%	—	—	—	—	—	7%
	—	8.3%	7.5%	6.1%	0.054							

施策の内容	R2年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 計画的・効率的な行政の推進	23,717	5	1	3	1	企画経営課、財政課
2 行政組織の効率化と人材育成	21,276	4	2	2	0	企画経営課、総務人事課
3 行政事務の電子化	282,099	4	0	4	0	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当
4 健全で柔軟な財政運営	176,387	7	7	0	0	財政課、市民税課、資産税課、納税課
5						
6						
7						
8						
9						
計	503,479	20	10	9	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	総務部
	節	3	健全で計画的・効率的な行政の体制づくり	評価者名	會田 喜一郎
評価主体が推進する施策の概要	①職員の人材育成 ・職場内外の研修などを通して職員の能力の向上に努め、より良い市民サービスの提供に努める。 ・管理職に占める女性の割合を増加させるため、意識啓発を行うとともに、女性向け研修への参加機会を拡充する。 ②市税の適正な課税及び徴収 ・市民税や固定資産税等の市税の適正な賦課及び徴収を行い、自主財源の確保を図る。				

### 3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	・人材育成基本方針に基づき、外部研修機関への派遣研修、職場外での集合研修、職場内での業務を通じた研修を行い、職員の能力向上に努めた。 ・令和2年度決算の市税の収入済額は、174億3,295万2,596円（R01：173億7,009万7,103円）で、対前年度比6億2,855万5,493円、0.13%の増であった。 また、納税率は、現年度99.21%（R01：99.08%）で対前年度比0.13ポイントの上昇、滞納繰越分41.35%（R01：41.76%）で対前年度比0.41ポイント低下した。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input type="checkbox"/> 大きな課題がある
	・研修への参加を促進したいが、通常業務も増加傾向にあり、研修時間の確保が難しい場合がある。また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの研修が中止となったため、今後は、オンラインによる研修など、新たな研修方法の検討が必要である。 ・令和2年度の納税率は、市税全体で98.17%となり、県平均（97.70%）を上回ったが、今後は、新型コロナウイルス感染症の影響などにより納税率の低下も懸念されるため、更なる納税率の向上に努める必要がある。		

### 4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	・職員1人あたりの研修参加数については目標を上回ったが、研修に対する満足度は目標をわずかに下回った。 ・市税の収入済額は、予算額よりも約5億7880万円の増収となった。納税率についても現年度分と滞納繰越分の合計で0.27ポイントの上昇となり、滞納繰越額が前年度よりも縮減できた。

### 5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進	<input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進	<input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進
	重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>		
施策の展開方針	(説明)		
	・職員の人材育成については、外部研修機関での派遣研修への参加を促進するとともに、内部研修にあつては、行政課題、社会情勢に対応するものや職員のニーズにあつたものを取り入れて内容を充実させる。 ・市税の課税にあつては、課税客体を的確に把握し、適正な課税に努める。また、個人市民税については、給与からの特別徴収制度への更なる理解・浸透を図る。 ・納税率を向上させるとともに滞納繰越額を縮減するため、現年度課税分未納者への早期対応、財産調査等に基づく滞納処分強化、担税力に応じた滞納処分の執行停止を行うとともに、徴収体制の充実・強化を図る。		
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
1	06 03 04	健全で柔軟な財政運営	市民税賦課事務
2	06 03 04	健全で柔軟な財政運営	固定資産税等賦課事務
3	06 03 04	健全で柔軟な財政運営	市税収納事務
4	06 03 02	行政組織の効率化と人材育成	人材育成推進事業
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R2年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R2年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
	06	03	01	行政改革推進事業	■			企画財政部	企画経営課	1,781	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	01	計画行政推進事業	■			企画財政部	企画経営課	3,416	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	06	03	01	公用車管理事業				企画財政部	財政課	8,933	●	☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	01	共通物品購入管理事業				企画財政部	財政課	6,893	○	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
	06	03	01	契約事務			■	企画財政部	財政課	2,693	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	02	行政組織等管理事務				企画財政部	企画経営課	0	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	02	人事管理事務	■			総務部	総務人事課	8,671	○	☆☆	見直して継続	削減	増加
■	06	03	02	人材育成推進事業	■			総務部	総務人事課	1,190	○	☆☆	見直して継続	増加	現状維持
■	06	03	02	職員福利厚生事業				総務部	総務人事課	11,415	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	03	情報機器・ネットワーク管理事務				企画財政部	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当	115,997	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	03	基幹系情報処理業務管理事務				企画財政部	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当	151,998	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
	06	03	03	行政情報化推進事業				企画財政部	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当	193	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
	06	03	03	社会保障・税番号制度管理事務				企画財政部	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当	13,910	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	04	市民税賦課事務				総務部	市民税課	20,649	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	04	諸税賦課事務				総務部	市民税課	1,117	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	04	税証明事務				総務部	市民税課	183	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	04	固定資産税等賦課事務				総務部	資産税課	42,168	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	06	03	04	市税収納事務	■			総務部	納税課	99,054	●	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	06	03	04	財政事務				企画財政部	財政課	13,215	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	04	財政健全化事業	■			企画財政部	財政課		○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
										184,448	部の事業費計				

【課題】 —：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】 ☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R2年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 企画財政部		
	節	4	公共施設資産の管理体制づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	誰もが公共施設等を安全で安心して利用しています。また、公共施設等を経営資源として捉え、有効に活用され、効率的に利用されています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① アセットマネジメントの取組の推進	「アセットマネジメント導入基本方針の策定」 —	—	—	—	—	「公共施設マネジメント基本計画」「公共施設マネジメント基本計画」の策	—	—	—	—	公共施設等の効率的な維持管理
②	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R2年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 公共施設等の計画的整備と資産の有効活用	511,123	6	0	5	1	財政課、アセットマネジメント推進課
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	511,123	6	0	5	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	企画財政部
	節	4	公共施設資産の管理体制づくり	評価者名	柳澤 徹
評価主体が推進する施策の概要	<p>・将来的な人口動態や財政運営、市民要望などを的確に見極めた上で、公共施設を一つの経営資源として捉え、施設の統廃合や複合化・長寿命化・民間活力の活用方策等を含め、アセットマネジメントの各種取組を推進する。</p>				

### 3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>・公共施設の跡地等の有効活用を図るため、「八潮市公共施設マネジメントに関する民間提案制度運用指針」に基づき、3件のサウンディング型市場調査を実施した。</p> <p>・新庁舎建設基本設計（素案）を確定し、パブコメ、市民説明会などを経て、基本設計を完了した。また、令和3年度建設工事着手に向け、実施設計業務を実施した。</p> <p>・「公共施設等長寿命化方針」及び「公共施設再編計画」に基づき、身体障がい者福祉センターやすらぎ大規模改修工事及び八幡図書館・公民館大規模改修工事実施設計業務等を行うとともに、市有施設における営繕業務を実施した。</p>		
課題	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>・アセットマネジメントの取組を持続的かつ着実に実行する上で、公共施設の更新・統廃合・保全に必要な財源を確保することや事業費の平準化及び抑制が極めて重要な課題となる。また、施設再編における市民との合意形成や複数部局にわたる施設再編への取組など実践的な取組へと移行することに伴い、公正性と客観性の確保、公正・中立で地域の利害を超えて、全市的な利益を考えていく視点に立った取組が課題となる。</p> <p>・令和3年度着手予定の新庁舎建設においては、設計図書どおりに工事が行われていることの確認が重要となり、また現庁舎を利用しながらの工事となることから、庁舎利用者や周辺住民への周知と安全の確保が必要である。</p>		

### 4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	<p>新庁舎整備事業において、コロナの影響により設計業務に遅れが生じたものの、当初予定した竣工には間に合うまで軌道修正することができた。</p> <p>一方で、公共施設の跡地等の有効活用については、検討が進まず、具体的な成果を上げることができなかった。</p>

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

### 5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進		
施策の展開方針	<p>→ <input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他</p>		
	<p>(説明)</p> <p>・今後のアセットマネジメントの取組みでは、これまでの既成概念にとらわれることなく、全体最適の視点を念頭に施設再編を検討するとともに、アクションプランに基づく施設再編計画には民間活力の導入、公的不動産戦略の導入を検討していく。また、令和3年度は「八潮市公共施設マネジメントアクションプラン（平成29年度策定）」の計画期間の中間期にあたることから、前半の取組みについて検証するとともに、後半の取組について見直しを図る。</p> <p>・新庁舎整備の取組みでは、実施設計を踏まえ、令和3年10月の工事着手、令和5年10月の竣工、令和6年1月のオープンを目指す。</p> <p>・公共施設管理、営繕の取組みでは、維持管理費の削減やサービス水準を維持・向上させながら、公共施設再編計画及び公共施設中長期保全計画に位置付けられた施策を着実に実施していく。</p>		
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
1	06 04 01	公共施設等の計画的整備と資産の有効活用	新庁舎整備事業
2	06 04 01	公共施設等の計画的整備と資産の有効活用	アセットマネジメント推進事業
3	06 04 01	公共施設等の計画的整備と資産の有効活用	庁舎管理事業
4	06 04 01	公共施設等の計画的整備と資産の有効活用	営繕・施設管理事業
5	06 04 01	公共施設等の計画的整備と資産の有効活用	公有財産管理事業

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出



施策評価シート（対象：R2年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 企画財政部	市民活力推進部
	節	5	広域的な連携体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	関係自治体との協力関係が強化され、広域的な行政サービスが提供されることにより、市民が利便性の高い生活を送ることができています。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① まんまるよやくの登録者数（八潮市民）	3,045人	—	—	—	—	3,600人	—	—	—	—	4,000人
②	—	3,297人	2,189人	2,996人	2,127人						
③	—	—	—	—	—						
④	—	—	—	—	—						
⑤	—	—	—	—	—						

施策の内容	R2年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 広域的な連携の強化	6,196	2	0	2	0	企画経営課、市民協働推進課
2 県及び他市区町村との協力関係の構築・強化	0	1	0	1	0	企画経営課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	6,196	3	0	3	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	企画財政部
	節	5	広域的な連携体制づくり	評価者名	前田 秀明
評価主体が推進する施策の概要	広域的な連携の強化 ・道路・交通網の整備や情報通信技術の進展により、行政の圏域や枠組みを越えて市民活動が行われ、市民ニーズが複雑化・多様化していることから、近隣自治体との広域的な連携体制をつくることによって、より効率的かつ効果的な行政サービスが提供されるよう広域的な行政課題等について調査研究を行う。 ・近隣5市1町による埼玉県東南部都市連絡調整会議を通じて、広域的な行政課題の解決に向けての調査研究を行う。				

### 3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	・東南部地域における、共通する行政課題の調査研究を行うにあたり、デジタル化専門部会において、AI・RPAにかかる調査研究を行った。 ・婚活まんまるバスツアーについては、新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止した。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	公共施設の利用条件などについて今後検討する必要がある。		

### 4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	5市1町の公共施設の利用条件などについては課題があるものの、埼玉県東南部都市連絡調整会議を通じて、広域の連携事業や広域の課題に対する調査・研究は順調に実施されている。

### 5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進 → <input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
施策の展開方針	(説明) 5市1町の調和の取れた発展を目指し、広域的な行政課題について調査研究を行い、引き続き広域的な連携を図る。

重点事業（部で5事業まで）					
	施策コード			施策の内容	事務事業
	章	節	施策		
1	06	05	01	広域的な連携の強化	広域行政推進事業
2	06	05	02	県及び他市区町村との協力関係の構築・強化	広域協力体制構築事業
3					
4					
5					

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）  
 ☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）



施策評価シート（対象：R2年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 市民活力推進部	企画財政部
	節	5	広域的な連携体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	関係自治体との協力関係が強化され、広域的な行政サービスが提供されることにより、市民が利便性の高い生活を送ることができています。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	実績	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
① まんまるよやくの登録者数（八潮市民）	3,045人	—	—	—	—	3,600人	—	—	—	—	—	4,000人
②	—	3,297人	2,189人	2,996人	2,127人	2,135人	—	—	—	—	—	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R2年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 広域的な連携の強化	6,196	2	0	2	0	企画経営課、市民協働推進課
2 県及び他市区町村との協力関係の構築・強化	0	1	0	1	0	企画経営課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	6,196	3	0	3	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	5	広域的な連携体制づくり	評価者名	鈴木 圭介
評価主体が推進する施策の概要	広域的な連携の強化 ・埼玉県東南部都市連絡調整会議による公共施設の相互利用を進める。				

### 3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	まんまるよやく（埼玉県東南部地域公共施設予約案内システム）の安定的な運用に努めるとともに、現システム利用者カードの更新制度を周知し、利用者登録の整理を行った。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input type="checkbox"/> 大きな課題がある
	令和3年度の新システムへの移行の際、予約機能の変更（パソコン、スマートフォンのみ利用可能となる予定）により、利便性が低下しないよう構成自治体と連携して取り組む必要がある。		

### 4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	平成27年11月に新システムに移行後も特に大きな問題はなく、安定的に利用されている。

### 5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																							
施策の展開方針	(説明) 埼玉県東南部都市連絡調整会議の構成市町と連携・協力を図り、今後も利用者の利便性の向上のため、まんまるよやく（埼玉県東南部地域公共施設予約案内システム）の安定的な運用に努める。																																							
<input checked="" type="checkbox"/> 重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>06</td> <td>05</td> <td>01</td> <td>広域的な連携の強化</td> <td>広域連携事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	06	05	01	広域的な連携の強化	広域連携事業	2						3						4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	06	05	01	広域的な連携の強化	広域連携事業																																			
2																																								
3																																								
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

